

泉ヶ丘きばいもんそ会

鹿屋市初！町内会主体の有償ボランティア開設
までの流れ

第2層生活支援コーディネーター
豊園千鶴

きっかけは

平成27年に泉ヶ丘町内会で
独居高齢者の孤独死が発生



同年、住民が見守りを行う
泉ヶ丘ふれあい隊を結成



平成29年7月アンケートを
実施。有償ボランティアの
ニーズが多いことが分かる

20回以上協議を重ね



生活支援コーディネーター
が根気強く支援した結果、
泉ヶ丘きばいもんそ会開設



苦勞したこと

(住民の理解)



これまで好意で支え合い活動をしてきたけど、お金をとるの？



「ちょっとした困りごとを出来る範囲でお手伝いしただけなのに、たくさんお礼をいただいて、かえって気を使ってしまった。」など、助けられる側だけでなく、助ける側も気を使ってしまうことが...



気軽に助けてと言える、助ける側も気を使わないですむ仕組みが有償ボランティアであることを理解してもらうため、さわやか福祉財団のDVDや隣の会の活動等を紹介しながら根気強く働きかけた。

苦勞したこと (資金面)



立上げ等に必要な
資金はどこから
捻出する？

立上げ等の準備にかかる経費をどうするか、協議の中で検討。国の総合事業を活用することも検討したが、使い勝手が悪い。市の町内会活力推進交付金もどうなるか分からない。



さわやかインストラクターの齋藤氏（NPO法人 隣の会）から「連合・愛のカンパ」を紹介いただき、応募した結果全国86団体の中から採用（全国で19団体）！



社協の赤い羽根共同募金による助成も目途が立った！

苦勞したこと

(支援内容)



何をしたい？
何ができる？



支援内容について、したい支援、できる支援について協議したが、なかなか発言が...



支援者側の登録書類の中の「手伝いできること」を書いてもらうと、できる支援がたくさん。
最終的に12項目にまで！

支援内容

金額	時間の目安	お手伝いメニュー
300円	30分程度	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみ出し（月単位） ・おかずの提供 ・簡単な裁縫 ・電球交換、電化製品の取扱い ・屋内の家具の移動（1人当たり） ・書類の代読・代筆 ・簡単な掃除
600円	1時間程度	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単な庭仕事 （草取り、水まき、種まき・定植等） ・簡単な剪定 ・簡単な大工仕事 ・病院付き添い ・話相手、子守り

※事前にたすけあい券の購入が必要

※会費（初回のみ）

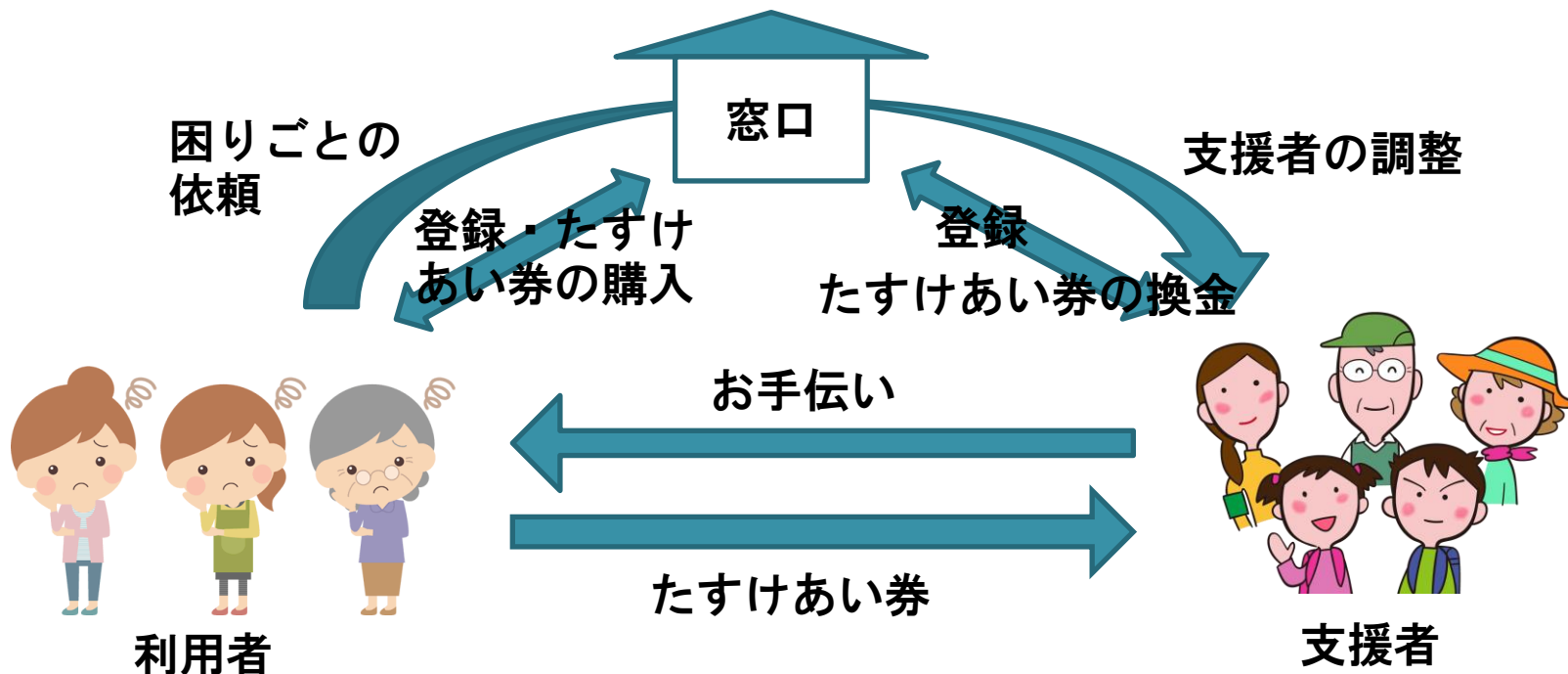
- ・町内会員 300円
- ・町内会員外 600円



支援体制等

平成30年5月20日現在

項目	利用者	支援者
登録者数	8人	15人 (男10人、女5人)
登録状況	41歳～86歳	11歳～84歳



きばいもんそ会開所式

日 時：平成30年5月20日(日)10時00分～

場 所：泉ヶ丘団地集会所、多目的広場

参加者：関係者、住民あわせて約100人

内 容：①代表挨拶

②来賓挨拶（九州厚生局の課長も）

③有償ボランティア内容説明

④助け合い体験ゲーム

⑤地域住民交流会（みんなの食堂）

⑥「いずみ会小唄」合唱・写真撮影

報道等：KKB、KYT、朝日新聞

きばいもんそ会開所式



きばいもんそ会開所式



仕組みの定着までは
関係者の皆さんの協
力がまだまだ必要！
これからもご協力
お願いします！

